

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年8月17日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	松本市	代表者名	臥雲 義尚
担当者部署	DX推進本部	連絡先電話番号	0263-34-8348
担当者役職	技師	担当者氏名	石神 真有子
		連絡先E-mail	
住所	390-8620 長野県松本市丸の内3-7		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体システム標準化に向け、業務担当課の管理職を対象に研修を行っていただいた。時代の変化とともに自治体も変化していく必要があること、そのために国が主導して自治体システム標準化を進めていることなどをわかりやすく説明していただいたこと。具体的にこれから自治体として何をしていかなければならないか、松本市はどこまでできていてこれからどうしていけばよいのかをお話していただけたこと。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年8月10日	講演	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	12時00分	0
				活動時間（分）	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	自治体システム標準化業務担当課の管理職	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体システム標準化の業務担当課管理職に対し、自治体システム標準化について理解を深めるとともに今後実施していかなければならないことを把握してもらう必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	業務担当課が自治体システム標準化に向けFit&GapやRFI等実施していかなければならないことを理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	自治体システム標準化に向け、具体的にこれから自治体として何をしていかなければならないか、松本市はどこまでできていてこれからどうしていけばよいのか、管理職として理解しておかなければならないことをお話ししていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	業務担当課管理職の自治体システム標準化に対する理解が深まった。	

(具体的にご記入下さい)		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 集計中ではあるが、7割以上が研修に対して満足だと感じている。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	自治体システム標準化について、業務担当課として理解をし、標準化に向けて主体的に推進してゆく。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



目次

1. DXとは何か？我々はどう向き合うべきか？

- (1) 国の考えるデジタル化社会
- (2) Z世代の登場
- (3) 未来に向けて何ができるのか
- (4) 世代ごとの特徴から成功事例を学ぶ
- (5) <参考>経験を積むためのシミュレーションシステムの例
- (6) <参考>窓口の行政改革シミュレーションの例
- (7) 失敗を恐れない改革に向けたアクション

2. データ取り扱いに関する動向

(個人情報保護制度の見直し)

3. 変化や改革に対応できる業務管理のポイント

4. 業務の見直しと実行計画化

5. 標準化等の方向性

